日建連会員企業による処理現場一覧

量の災害廃棄物処理を、 ゼネコンの総合力これまでにない処 書をまとめ 震災における災害廃棄物処理業務に関する報告 会長に話を聞いた。 興対策特別委員会災害廃棄物部会の井手和雄部 の災害によって発生したこれまでにない膨大な 今回の災害廃棄物処理業務の特徴は、 た。 報告書発行に当たり、 理を可能に 平成二十六年三月末ま 未曾有 復

復旧·復興対策特別委員会 災害廃棄物部会長 井手和雄

> ことが求められ、 大きな課題となりました。 そのなかで、 でに完了させなければならないという点でした。 ることと、 地元の企業・ 廃棄物を資源として極力再利用す この要求にどう応えるか 人を積極的に活用す が る

般社団法人日本建設業連合会は、

東日本大

長経験者で だからこそ、 などの特殊な物質もうまく再利用することがで 全一四の現場が稼働して 必要がありましたが、 きました。これも、 場の所長も、 加盟会社であるゼネコンとよばれる総合建設業 なければ実現できなか れた技術と新たな技術 ント力は、 災害廃棄物処理業務では、 再資源化・ 洗净、 し た。 ダム ŕ 非常に大きな力となり 対応できたことだと思っています。 彼らの経験で培わ クル や大規模造成などの ゼネコンの総合力、 これはやはり、 クル までを総合的に管理す つ たことだと思います が にあたっては、 たのですが、 運搬から破砕、 b **ました。** れたマネジ 日建連の 現場の所 技術力 どの現 焼却灰 蓄積 焼 る

は込められています。

参考資料として 連の業務を 害に向け

とに何も残らない モノが残ります ではないかと思ってい 生した際の、 都圏の直下型地震や、 にまとめたことは、 をぜひお伝えしていきたい て、官庁の方、 も施工スピ ٤ また、 タとして残るのです。 もちろん、 という一四現場の思い 通常のゼネコンの業務では、 それぞれの現場で、 災害廃棄物処理業務にも役立つ が、 自治体の方に、 も規模も違う。 マの だからこそ、 重要な意味があると考え 災害廃棄物処理業務は、 、ます。 南海トラフ地震などが発 現場で業務記録は残っ 今後予測されて として一冊の報告 と考えてい ŧ それが わ 環境も施工 の報告書を使 この報告書に 記録を残さな n わ つくっ ます。 n の実績 つ いる首 0) あ た 0) デ つ

関係機関との事前の災害協定があれば、 は今後重要になるのではないでし しスムーズに業務を進めることができたのでは ただきましたが、 報告書のなかで一〇数項目 った場所を事前に確保できるような仕組み た現場では、 か、という点です。 仮置き場の 業務の開始が遅 特に強調した 場所が 今回、 な 処理施設や処理プ か の提言をさせて たいことは、 な よう か れました。 確保でき か。 もう な 少

ない

つ

野田村 久慈地区: 奥村組·宮城建設·中塚工務店·晴山石材建設JV **処理対象量15.8万トン**(当初処理対象量8.0万トン(その1:平成25年3月末工期)) 宮古地区: 鹿島建設·三井住友建設·鴻池組·西武建設·三好建設·斎藤工業JV 岩泉町 処理対象量89.6万トン(当初処理対象量16.6万トン(その1:平成25年3月末工期)) 山田地区: 奥村組·日本国土開発·陸中建設·吉川建設·佐藤建業JV **処理対象量46.3万トン**(当初処理対象量8.8万トン(その1:平成25年3月末工期)) 宮古市 大槌地区:竹中土木・タケエイ・松村建設・八幡組JV 大槌 処理対象量62.6万トン(当初処理対象量16.0万トン(その1:平成25年3月末工期)) 釜石市:大成・熊谷・山長・新光・カネナカ・アシストJV 処理対象量35.1万トン(当初処理対象量28.1万トン 気仙沼処理区:大成・安藤ハザマ・五洋・東急・西武・深松・丸か・小野良・阿部伊」 処理対象量165.7万トン(当初処理対象量111.4万トン) 南三陸処理区:清水・フジタ・鴻池・東亜・青木あすなろ・錢高・浅野JV 処理対象量66.4万トン(当初処理対象量54.6万トン) 石巻ブロック: 鹿島・清水・西松・佐藤・飛島・竹中土木・若築・橋本・遠藤JV **処理対象量298.2万トン**(当初処理対象量977.0万トン) 宮城東部ブロック: JFE・鹿島・鴻池・飛島・橋本・東北重機JV 南三陸町 処理対象量33.0万トン(当初処理対象量57.4万トン) 宮城県 立巻市 女川町 東松島市 大大浜町 8 多賀城市:鴻池組 処理対象量14.3万トン 塩竃市 名取処理区: 西松・佐藤・奥田・グリーン企画・上の組JV 多賀城市 処理対象量77.1万トン(当初処理対象量41.0万トン) 岩沼処理区:安藤ハザマ・奥田建設・上の組・春山建設・佐藤建設JV 名取市 処理対象量63.6万トン(当初処理対象量158.7万トン) 岩沼市 亘理町 亘理処理区:大林·戸田·鴻池·東洋·橋本·深松·春山JV 処理対象量83.9万トン(当初処理対象量175.0万トン) 山元町 山元処理区:フジタ·東亜·青木あすなろ·大豊·本間·河北·佐藤JV **処理対象量168.9万トン**(当初処理対象量110.6万トン) 会員企業による処理量合計/1,220万トン 全体発生量(福島県除く)/2,453万トンの約50% 報告書の本文は、日建連HPからPDFで閲覧することができます。 ※処理対象量は平成26年3月末時点の値 (http://www.nikkenren.com/doboku/saigai/report)

災害廃棄物処理業務というのは非常時 も必要かと思います。 今後検討していただければと考えています。 もう少し迅速に契約を締結できる仕組みなどを から、 ロポ 平時の法規制や規則に縛られない対応 Jν 方式で、 また、 したが 今回の契約方式は 非常時に のことで

元務 の協力が あってこそ

漁網の処理の場面です。 糸をほぐして鉛を取り出す必要があるのですが のご協力をいただきました。印象的だっ いていただいたのです。 に現場に来て な作業で これがとても難しく、 るためそのままでは焼却処分が 業務にあたっては地元の方に、 した。 いただいて、 そこで、 熟練の方でないと不可能 地元の漁業関係者の 漁網には鉛が含まれて 手作業で鉛を取り 大変たくさ できませ たの 方 は

岩手県・宮城県の関係部署の 別など、 ならびに、ご寄稿をいただきま ご指導・ご協力いただきま て集まっていただけた。 くださ 最後になりますが、 それ以外にも、 この誌面をお借 地元の方が積極的に処理業務に参加 しようじゃない いました。 混合廃棄物の手 自分たちの 本報告書の作成に際し、 本当に感謝しています か、 お礼申 という気概を持っ した執筆者の方 ご担当者の方 まちを早 四 作業による選 現場の方々 上げ ます。